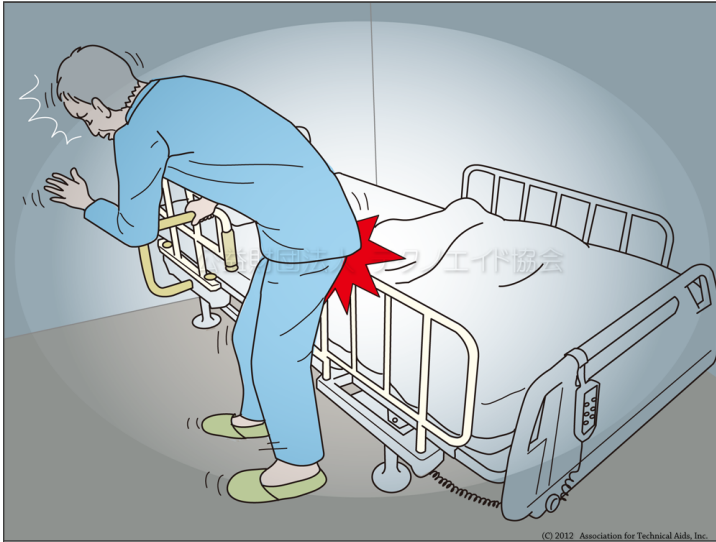


Case : 44

ベッドの柵（サイドレール）に臀部をぶつけ、転倒しそうになる

場面の説明

夜間、利用者がベッドに戻って腰掛けようとした際に、誤ってベッドの柵（サイドレール）に接触した



利用シーン	 起居・就寝  立ち座り  夜間
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台付属品
分類コード	181227 (ベッド用サイドレール, ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

視力の状態によっては昼間でも起こりえる事例です。利用者に注意を促すことも必要ですが、ベッドの柵（サイドレール）の長さを変更するなどの対応を検討しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

モノ：夜間だとベッドの柵（サイドレール）が認識しづらい
 環境：フットライトなどの照明をつけていなかった